

園田西武庫線 現況写真

①園田西武庫線 整備状況（東側より）

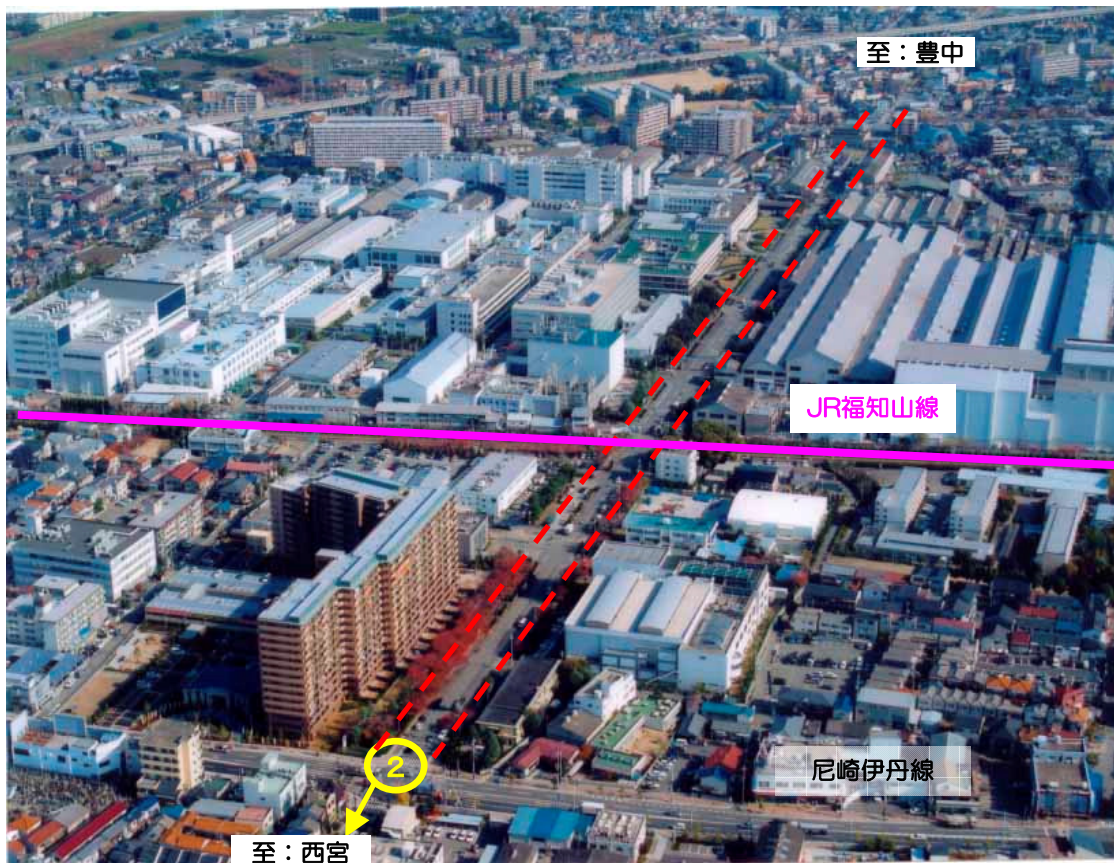


②園田西武庫線 整備状況（東側）



園田西武庫線 現況写真

①園田西武庫線 整備状況（西側より）



②園田西武庫線 整備状況（西側）



街路-7

園田西武庫線 現況写真

猪名寺椎堂線 渋滞状況 (JR福知山線 前畑踏切)



至：豊中

塚口駅小中島線 渋滞状況 (ピッコロシアター南交差点)



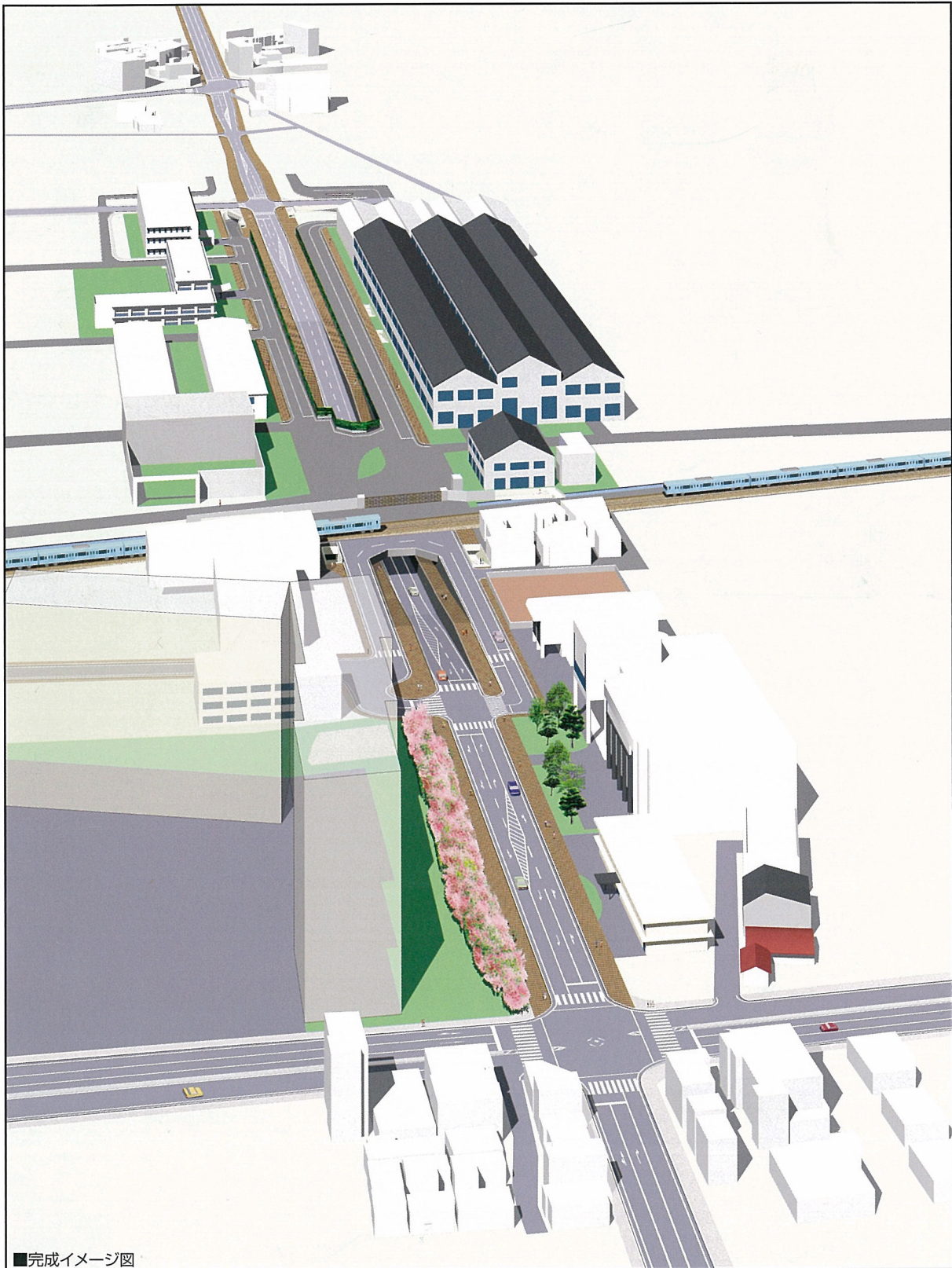
至：豊中

至：尼崎伊丹線

街路一8

園田西武庫線 イメージパース

至豊中市

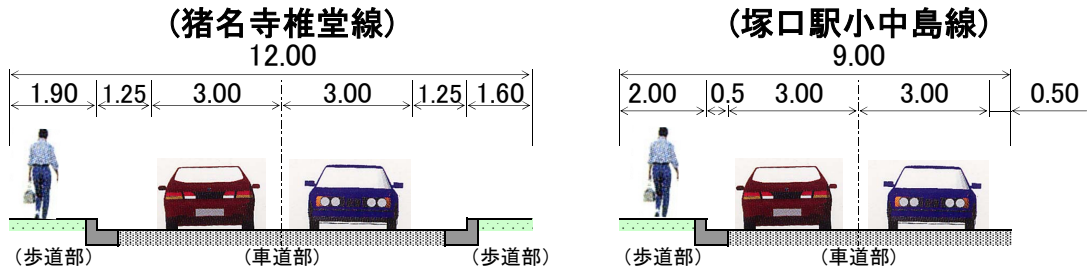


■完成イメージ図

至西宮市

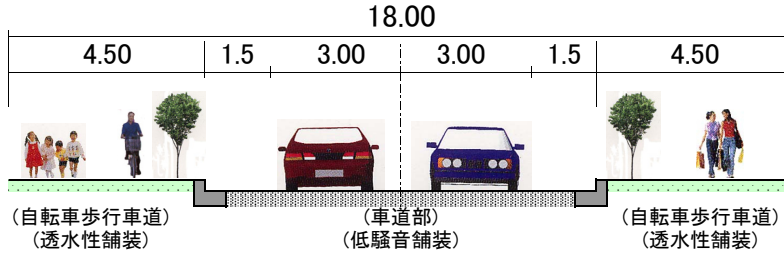
現況横断面図

※事業予定区間には現道が無いため、本路線と同様に東西交通を担う競合路線の横断面図を参考として以下に示す。

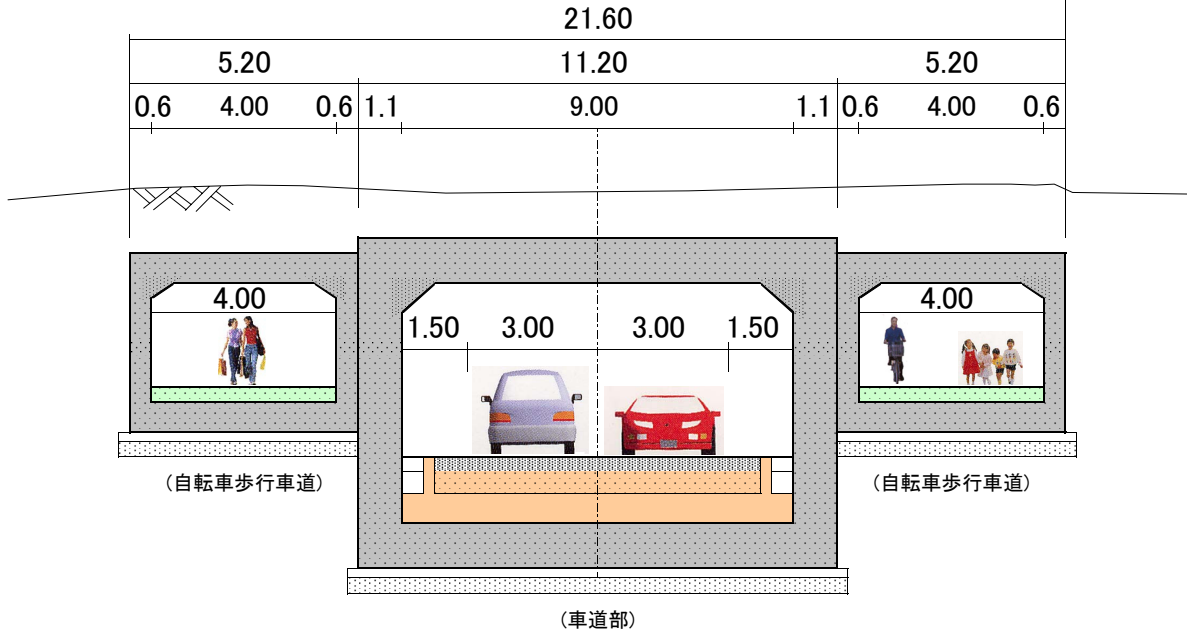


計画横断面図

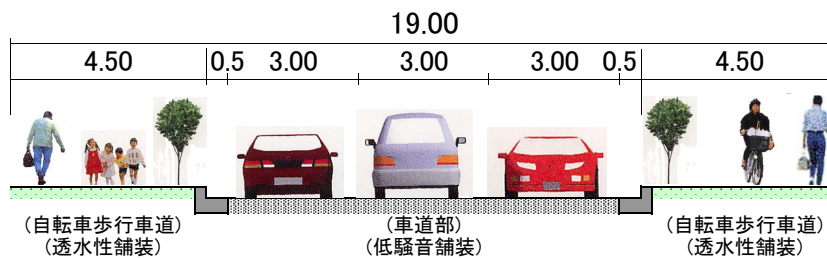
(一般部)



(JR交差点部)

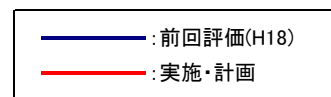


(交差点部)



1 実施行程表

		H8	H9	H10	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	
測量・試験	道路設計																								
	測量・用地調査																								
	物件補償調査																								
用地・補償	大規模工場																								
	その他																								
工事	仮設道路踏切設置																								
	JRアンダー																								
	取付道路等																								



2 事業効果について

(1) 費用対効果

① 便益(B)の項目

事業	B(便益)	算出方法
街路	① 走行時間短縮便益 ○ 目的地までにかかる時間が短くなることによる便益	整備無しの走行時間費用－整備有りの走行時間費用 走行時間費用; $\Sigma(\text{交通量} \times \text{走行時間}) \times \text{時間価値原単位} \times 365\text{日}$
	② 走行経費減少便益 ○ 走行速度の向上や走行距離の短縮により、燃料費などが節減される便益	整備無しの走行経費－整備有りの走行経費 走行経費; $\Sigma(\text{交通量} \times \text{距離}) \times \text{走行経費原単位} \times 365\text{日}$
	③ 交通事故減少便益 ○ 中央分離帯の設置や通過する主要交差点の減少により、交通事故が減少する便益	整備無しの事故損失額－整備有りの事故損失額 事故損失額; $\Sigma(\text{交通量} \times \text{距離} \times \text{交差点以外の事故損失原単位} + \text{交通量} \times \text{主要交差点数} \times \text{交差点部事故損失原単位})$

② 費用便益比(B/C)算出根拠

事業	事業名	B(便益)		C(費用)			B/C		
		便益額(百万円)	代表的な効果	総費用(百万円)	事業費(百万円)	維持管理費(百万円)			
街路	園田西武庫線	全体事業費	① 走行時間短縮便益	52,487	時間短縮; 13.0分→3.5分 現況交通量; 14,779台/日 (塚口小中島線) 計画交通量; 8,800台/日	17,789	17,593	196	3.3
			② 走行経費減少便益	5,090					
			③ 交通事故減少便益	636					
			計	58,213					
		残事業費	① 走行時間短縮便益	52,487	時間短縮; 13.0分→3.5分 現況交通量; 14,779台/日 (塚口小中島線) 計画交通量; 8,800台/日	15,983	15,787	196	3.6
			② 走行経費減少便益	5,090					
			③ 交通事故減少便益	636					
			計	58,213					

(2) 費用対効果に含まれない効果

- ① (災害時) 阪神高速等へのネットワーク強化による緊急物資等の円滑な輸送の確保。避難場所へのアクセス性向上等減災対策への取組(平時)歩道の整備による交通安全対策
- ② 鉄道及び工場群による東西地域分断の解消により地域間交流の促進
- ③ 周辺駅へのアクセス性を高め、交通結節機能を向上
- ④ 歩道部の透水性舗装による雨水の地下への還元及び車道部の低騒音舗装により、沿道環境を改善